

<JMITUホームページ>

「<http://www.jmitu.com>」

<JMITUオハラ樹脂工業分会 E メール>

JMITUオハラ樹脂工業分会への文書送付、ご意見、
問い合わせは「jmitu_aichi@roren.net」へ。

発行所

JMITU（日本金属製造情報通信労働組合）

オハラ樹脂工業分会

〒457-0841 名古屋市南区豊田五丁目17-10

「オハラ樹脂工業分会ホームページ ※組織外、
<http://www.roren.net/jmiu/ojk-union/index.html>」 無断転載禁止

「生活が苦しい」との声に耳も傾けず！！ 2時間経過したら一方的に退室！！

【9月2日団体交渉の議題】

夏季一時金要求に関する協議

当労組側の要求

- ・基本給の3ヶ月分を、一律に支給されるよう要求。

会社側の回答

- ・コロナウイルスなどでの自動車生産台数減少の影響による財務の悪化により、過去5年（10季）連続の「ゼロ回答」

会社側回答の矛盾点

- ・年俸制従業員には一時金が含まれている質問に対し無回答。
- ・「資金がない」と言いながら団体交渉は外部の有料会場を利用。
- ・「何故、従業員の一時金だけが犠牲になるのか？」の質問についても無回答。



団体交渉の様子（笠寺ホテル第2会議室にて）

2022年9月2日（金）JMITU愛知支部オハラ樹脂工業分会は、2020年12月21日以来、実に約1年8ヶ月ぶりに、笠寺ホテルで第7回目の団体交渉を行いました。

会場については、本社食堂で行うことで合意した筈ですが、会社側は約束を反故にし、一方的に外部会議室を指定するという、相変わらずの傍若無人ぶりです。

今回の議題は夏季一時金要求についてですが、尾原社長は全く従業員の家計に思いを寄せることなく、「資金がない」の一点張りのゼロ回答で、組合員から「1回では完治しない歯医者治療費が高く、健康管理が金銭的に維持できない」「食費もスーパーの値札が見切品になるまで待っている時間の悔しさ」などの、くらしの実態を訴えても、使用者としての責任を詫びる態度は微塵も見られませんでした。その一方で有料の会場を使い、赤字で資金がないという割には、矛盾した行動に及んでいます。

また、年俸の方にはわずかですが一時金が組み込まれているにも関わらず、月給制の方にはその「わずかさえ回答しないのは、差別だ」との指摘に、尾原社長は答えることもできませんでした。

他には、当労組が尾原社長に質問しても、会社側弁護士が横槍を入れてきて、話の腰を折るので、一向に話が進まない一幕もありました。

つまるところ、今回の団交は、労働委員会の争いを有利にするための「既成事実づくり」としか考えられません。

5年連続一時金「ゼロ回答」！！